

# 平成28年リフト事故集計表

機工協・技術サービス部会調査

番号	事故発生状況	事故発生場所				発生時間			リフトの種類				生産区分		事故区分		人身事故状況			物損内容			事故の推定原因				事故後の処置				設置年月	使用年数(概算)	保守契約			
		ディーラー	業者	ガソリンスタンド	用品店	その他	午前	午後	時間外・不明	二柱	四柱	リンク	埋設	ツイーンリフト	その他	国産品	輸入品	人身事故	物損事故	負傷1月以内	負傷1月以上	死亡	乗用車	トラック	その他	リフト不良	設置不良	取扱不良	点検不履行	その他			撤去	入替え	修理	その他
1	車両の整備終了後、リールに収納するためにリモコンのコードを引っ張ったところ、リモコン操作を行っていないのにリフトが上昇して付近に駐車していた車両に接触した。 原因は、設置時にリールとリモコンを結線する際の不具合により誤作動を起こしたためである。絶縁キャップを取り付けるとともに、端子間の隙間を確認した。	○					○				○						○								○								H28.1	1年未満		○
2	車両をリフトアップし、エンジンサポートを使用してミッションを交換していた際に、リフトを少し下げたところ、下降が止まらず車両が落下した。 原因は、リモコンコードの経年変化である。リモコンコードを交換し、定期点検を行い、リフト適正使用のポスターを配付した。また、継続的に定期点検を受けるよう提案した。	○					○				○						○																H4.3	24年		○
3	リフトの下限付近で車両の整備を行っていたところ、リフトが勝手に上昇したためリモコンを操作したところ、リフトの上昇は止まったが車両が天井に接触して損傷した。 原因は、リモコンリールの引き出し限界テープが剥がれており、限界を越えた位置で頻りにコードを引いていたため、リール内部の固定金具との摩擦でコードの被覆が剥がれて接触し誤作動を起こしたと思われる。リモコンリールを交換し、注意喚起シールを貼付した。	○						○			○						○								○	○						H19.4	9年		○	
4	車両がない状態でフロアリフトが下降していたため、作業員が開口部に気づかず誤って転落した。リフト使用後はリフトを元に戻すよう徹底するとともに、車両がない状態で作業を実施する場合の安全対策を強化した。	○						○									○															不明			○	
5	車両のプロペラシャフトを取り外した後に、車両が前進してドライブオン式リフトのランウェイから落下し、リフトの前の新油タンクに衝突した。 原因は、車両のサイドブレーキを引いていなかったことと、ランウェイの前輪ストッパーを外していたためである。リフトの正しい取り扱い方法を説明した。	○						○			○						○															H17.12	11年		○	
6	業務時間外にリフトが誤作動を起こして上昇し、作業ストールに駐車していた車両が片上げ状態で押し上げられ、その後落下して周囲の車両と接触した。 原因は、操作スイッチが破損しており、汚損によるショートと思われる。操作スイッチ及びリール、リモコンコード類の交換を行った。	○						○			○						○															H9.12	19年		○	
7	車両をリフトアップして点検していたところ、ワイヤーが破断し、安全装置も作動しなかったために車両が落下し、作業員が逃げる際に指を負傷した。 原因は、ワイヤーの経年劣化である。リフト点検の啓発及び取扱方法を指導した。		○				○				○						○	○	○													H5.1	23年		○	
8	前日よりリフトアップしていた車両のショックアブソーバーを外すために強い力を加えたところ、受けゴムが車両からずれてしまった。その状態でさらに下降させたところ、アームがプレートから外れてアームが曲がり、車両がずれ落ちマフラーを破損した。 原因は、アームのセットがプレートのギリギリの位置であったため、車両に強い力を加えたことでアームがずれたためである。破損した部品を交換し、定期点検の実施及び正しい使用方法について指導した。				○		○				○						○															H2.8	26年		○	
9	車両をリフトアップして整備していたところ、車両が不安定な状態になりリフトから落下した。 原因は、リフトアップ時に車両のリフトポイントに誤りがあったためである。再度、リフト使用上の注意点を確認し、取扱方法の説明を行った。	○					○				○						○															H28.8	1年未満		○	

番号	事故発生状況	事故発生場所				発生時間			リフトの種類					生産区分		事故区分		人身事故状況			物損内容			事故の推定原因					事故後の処置				設置年月	使用年数(概算)	保守契約			
		ディーラー	業者	ガスリフト	用品店	その他	午前	午後	時間外・不明	二柱	四柱	リンク	埋設	ツインリフト	その他	国産品	輸入品	人身事故	物損事故	負傷1月以内	負傷1月以上	死亡	乗用車	トラック	その他	リフト不良	設置不良	取扱不良	点検不履行	その他	撤去	入替え			修理	その他	有	無
10	ジャッキグームで車両をリフトアップし、ホイールを外した状態にしていたところ、翌日、車両が斜めにずり落ち破損していた。 原因は、下降ロック爪が左右で異なる高さに掛かるようになっていたため、自然降下した際に受台の左右差が大きくなったこと、正規の受台を使用していなかったためである。 関連部品を交換し、再度、適正な使用方法を含めた取り扱いの説明を行った。	○						○		○					○			○																H26.1	2年		○	
11	車両をリフトアップした状態で下降させようとしたところ、ワイヤーが破断し、車両が落下した。 原因は、設置から一度もワイヤーを交換していなかったためである。 ワイヤー交換を行った。	○						○		○					○			○																H17.3	11年		○	
12	アーム部フラットキット用エアシリンダのチューブが抜けたため、アームを戻した時にアームと床の間に手を挟んだ。 原因は、エアシリンダとチューブとの継手が不良であったためである。 継手及びチューブを交換し、リフトの点検を行った。	○						○				○			○			○							○									H17.3	11年		○	
13	車両をリフトアップした状態で、操作をしていないにも拘らずリフトが下降し、車両が落下した。 原因は、無線式リモコンの誤作動と思われる。 メーカーにて調査を行ったが原因は不明であった。スイッチを交換し、様子を見ることとした。	○						○							○			○																H28.7	1年未満		○	
14	下降時に、助手席側のアームがずれて車両が落下した。車両を支えようとした作業員が飛ばされて負傷し、車両はガラスが破損した。 原因は、新品があったにも拘らず不良品の受けゴムを使用していたためと思われる。また、アームロック装置にも不具合があり、修理を行った。	○						○							○			○																不明			○	
15	車両の整備中に、操作レバーによりリフトを上昇させたところ、上昇が止まらず車両のルーフ部を破損した。 原因は、マグネットSWの不具合と思われる。						○	○		○					○			○																H22.1	6年		○	
16	リフト下降時に、フラットキット部に指を挟み負傷した。 原因は、作業員の注意不足により、開口部に手を置いたままリフトを下降させたためと思われる。 下降時に、下降音を発生させる対策を提案するとともに、ピットケース枠にトラテープを貼付した。	○						○							○			○																不明			○	
小計		13	0	1	1	1	3	8	5	1	2	3	7	2	1	14	2	5	13	5	0	0	11	2	0	1	1	7	7	1	0	1	12	2			0	16
合計		16				16			16					16		18		5			13			17					15						16			

平成28年整備機器(リフト以外)事故集計表

機工協・技術サービス部会調査

番号	機器名	事故発生状況	事故の発生場所					発生時間			生産区分		事故区分		人身事故状況			物損内訳			事故の推定原因					事故後の処置				設置年月	使用年数(概算)	保守点検										
			ディーラー	業者	ガソリンスタンド	用品店	その他	午前	午後	時間外・不明	国産品	輸入品	人身事故	物損事故	負傷1月以内	負傷1月以上	死亡	乗用車	トラック	その他	機器の不良	設置不良	取扱不良	点検不履行	その他	撤去	入れ替え	修理	その他			有	無									
1	門型洗車機	トップブラシがボンネット上で停止し、かなり強い力で押し下げようとしたためボンネットが損傷した。原因は、トップブラシのバルスが不良であったためである。点検を実施した。	○						○																				○										○			
2		小型トラックを洗車中、門型洗車機がエアブローをしながら原点位置へ戻る際にキャビンとトップノズルが接触した。原因は、トラックが洗車不可との認識はあったが、作動させてしまったためと思われる。	○							○													○																			○
3		洗車開始後、エラーが表示され機器が停止した。その後、再度洗車を行うよう機器を操作したところ、トップブラシが車両のルーフ部分に接触し、破損させた。原因は、エラーが表示されたにも拘らず、継続して使用したためと思われる。点検を実施したところ、リミットスイッチが固着していたため洗車時にエラーが発生していた。不具合箇所を修理し、再度、取扱方法の説明を行った。	○						○																				○	○												○
4		車両のフィンアンテナが検知できず、トップブラシが接触して破損した。原因は、湾曲したトップブラジが車両と接触したためと思われる。	○						○																				○													○
5		洗車終了後にふき取りを始めたところ、門型洗車機が動き出し車両と接触して損傷させた。洗車は2名で実施しており、門型洗車機が誤作動したと主張している。メーカーによる点検を実施したが、機器自体に問題はなかった。原因は、作業員によるボタンの押し間違えではないかと思われる。	○								○																			○												○
6		洗車時に、サイドブラシでドアミラーを破損した。原因は、使用者が車両進入時の停止位置に関する注意ステッカーを見落としていたためである。注意ステッカーの重要性を説明し、再度、取扱方法の説明を行った。	○								○																			○												○
7		門型洗車機に軽トラックを入れ、ブローををかけていたところ対応車種ではないためブローと吐出部分がルーフに当たり、トップシャフトの部分に損傷した。原因は、対応車種の確認を怠ったまま機器を作動させてしまったために接触したと思われる。改めて、対応車種の説明を行った。		○																										○												○
8	温水洗車機	作動していない状態の洗車機から出火し、本体が全焼した。原因は、電気供給用の電線が建物のプレスにかかっていた形跡あり、この部位より漏電・ショートが起こったものと思われる。																											○	○											○	
9	ブレーキ・速度計複合試験機	作業員が、運転席に乗りブレーキの測定(リア)をしながら、もう一人の作業員が左右差の調整をするために左リアタイヤの前から車両の下に入ったところ、作業着が車両とローラーの間に巻き込まれ、引きずり込まれた。原因は、電源を落とさず、ブレーキの測定状態で車両の下に潜りこんだために発生したと思われる。正しい使用方法を徹底するよう指導した。			○																																			○		
10	エアリーール	エアリーールからホースを引出したところ、リールブラケットが脱落してリール架台ごと落下し、整備中の車両を損傷させた。原因は、設置時にしっかりと溶接されていなかったためと思われる。復旧作業を行った。	○							○																			○												○	
11	部品洗浄台	洗浄台本体のタンクから廃液を回収後、炎があがった。原因は、ヒーターを切り忘れたため、発火したと思われる。	○																											○												
12	吊下げ式乾燥ヒーター	板金塗装後に車両を乾燥させるため、ヒーターを下降させたところ落下した。原因は、ストッパー用プレートの厚みが現行機よりも薄く、現行機にある落下防止装置も付いていなかったためである。落下防止装置を追加した。			○																																					
13	バッテリー充電器	充電器でバッテリーの上がった車両の充電を行っていたところ、約5分後に車両のシートが燃えていた。メーカーにて調査を実施したが、損傷が激しく原因は不明である。	○																																							
14	LED式投光器	充電式投光器を使用中に、バッテリー部から出火した。メーカーで調査したところ、正しい使用方法では発火しないと確認できたので、間違った使用が原因と思われる。正しい使用方法を指導した。																																								
小計			9	3	0	0	2	5	5	4	14	0	1	9	0	1	0	8	1	0	1	1	8	3	2	0	2	4	3										0	10		
総計			14					14			14		10		1			9			15					9																